明科いいまちつくろうかい!! 編集 発行

明科いいまち通信

WEBでもご覧 いただけます。▶



http://akashina.net/localinfo/newslisi

No. 80

安曇野市明科中川手6824番地1

明科支所:2562-3001 / 明科公民館:2562-4605

令和5年11月16日発行

■ 今日の明科の団体紹介

今回は ちくりんず

です

代表

堀江 秀夫

『ちくりんず』は、密生する竹林の整備活動を中心に活動し、さらに竹を使ったものづくりや季節ごとの里山の自然も楽しむ仲間でボランティア活動をする同好会です。

現在 12 人(男性 6 人、女性 6 人)の会員で、押野山の里山林に広がってしまったハチク林を活動場所として、LINEで連絡しあって毎月1回の活動を行っています。

定例の活動として、毎月第4木曜日の午前中、竹林所有者と一緒に竹の伐採とその竹の焚火を行い、一部をタケノコ林として残し、それ以外は駆除しています。数年後には、散策できる里山林に整備できればと思っています。

この他に、会員の家族や友人も誘って土曜日を中心に、6月にはタケノコ採り、7月には竹クラフトづくり、12月には一本門松づくり、1月には竹に関する勉強会を開催しています。





また会員は、伐採した竹や焚火の消し炭を持ち帰ることができ、庭や畑の資材として利用しています。

こうした活動に対して、会として傷害保険は掛けずに全て自己責任とし、当日、都合のよい会員の自由参加で行われています。年会費は500円です。このような活動にご興味のある方は、当会のホームページ(http://chikurinzu.web.fc2.com/)をご覧になってください。

ちくりんず ホームページ



明和コラム学「紅葉鬼神は 細田の美」

絶世の美人だった」

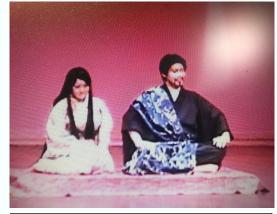
明科いいまちつくろうかい!! 会員 巻山 圭一

明科高校演劇部は、平成 18 年度、「紅葉鬼神―八面大王を愛した女―」という演目を、中信地区高等学校 演劇合同発表会で上演しました。潮沢物見岩の鬼「紅葉鬼神」は有明山の鬼八面大王の妻ということになっ ていますので、それを劇にしました。明科の「塔ノ原」という地名は、坂上田村麻呂によってばらばらにさ れた八面大王の頭を埋めたところだから「頭ノ原」というのだ、という言い伝えにもとづき、紅葉鬼神が八 面大王の首級を取り戻しにいく、という夫婦愛のストーリーに仕立てました。私は当時、演劇部の顧問を しておりましたが、このときは、多くの地元の方々が、まつもと市民芸術館まで足を運んでくださり、まこ とにありがたく存じました。

結論からいうと、この「紅葉鬼神」のルーツは戸隠の「鬼女 紅葉」にあります。戸隠の「鬼女紅葉」は次のような話です。

平安時代のはじめ、信濃戸隠の附近に勢力を張った女賊があ り、その首領を紅葉といいました。紅葉は会津の生まれで、都 にのぼってから源経基に愛され、その正妻を殺そうと企てた罪 で信濃に流されて、戸隠の里に棲むようになりました。信濃の 国司として赴任した平維茂は、上田市別所の北向観音に祈願 し、その霊験によって鬼女紅葉を討ち滅ぼすことができまし た。平維茂将軍塚が、別所温泉の入り口にあります。

鬼女は「山姥」の仲間だと思いますが、戸隠山麓から北安曇 地方、筑北の山地にかけて「山姥」に関わる伝説が濃密に分布



明科高校生徒が演じた紅葉鬼神・八面大王

しています。「紅葉鬼神」の「紅葉」という名は明らかに戸隠の「鬼女紅葉」の影響を受けているものと思わ れます。つまり「紅葉鬼神」は「鬼女紅葉」のアナロジー(類推・類似、簡単にいうとほとんど同じもの) なのです。

「鬼女紅葉」のような話が広く世に知られるようになったのは、室町時代からの能〈謡曲〉の「紅葉符」 によってでありました(原田伴彦「鬼女紅葉一戸隠の鬼女」)。

ご案内のとおり、能では前半の主人公が「前シテ」、後半の主人公が「後シテ」です。「紅葉狩」の前シテ は「女」で、若く美しい女です。紅葉山という深い山のなかで、通りかかった平維茂は、この女に誑かされ 酔いつぶれて寝てしまいます。後半では、女は "しかめ面"で赤頭の「鬼神」(後シテ)となり、維茂に襲 いかかってきますが、維茂は八幡大菩薩の加護のもと鬼神を退治します。これが能楽「紅葉狩」としてのあ らすじです。 謡曲 紅葉狩

戸隠の「鬼女紅葉」は上述のように都から来た身分の高い女 で、すがたもかたちも美しかったことは間違いないでしょう。 いっぽう「紅葉鬼神」の本名は「沢六隠岐家文書」によると 「従雺科九鬼」だそうです。「従雺」は霧を従える、すなわち 霧を自由に操るような妖力を持っていたのでしょう。「科九 鬼」は「トガクキ」だとしたら「トガクシ」との類似は偶然で はないかもしれません。実は、八面大王は大町市八坂の大姥山 の山姥とも結婚しています。この山姥が産んだ、八面大王の子 が坂田金時(幼名金太郎)です。

ということは、「安曇の鬼」八面大王は、一度ならず二度までも戸隠から連なる筑北周辺の山姥・鬼女に惹 きつけられているのです。「紅葉鬼神」は、郷土の英雄八面大王を惹きつけるぐらいですから、よほど妖しい 魔力をつかう絶世の美人であったに違いありません。

明科公民館からのお知らせ

あかしなこうみんかん Akashina-Kominkan

← 1月

11月

イベント等の詳細については、 **明科公民館(☎62-4605)**までお問い合わせください。

ワインと音楽の妙

ピアノとヴァイオリンの演奏を聴き

ながらワインと料理を楽しみます。

日 時: 12月1日(金)午後5時30分~午後8時

場 所: 明科公民館 講堂

奏 者: 近藤 聡さん(ヴァイオリン)

大野 一子さん(ピアノ)

参加費: 2,000円(料理のみは1,500円)

申込み: 11月20日(月)、21日(火)に明科公民館に

電話で申し込みください TEL:0263-62-4605

②初級・中級者向け

① 超 初 心 者 向 け スマホの操作、画面の見方など基本から学びます

インターネットの検索方法、QRコードからのアクセス、 動画やライブカメラの閲覧方法などを学びます

日 時: 12月5日(火) ①午前10時~正午

②午後1時30分~午後3時30分

場 所: 明科公民館 講堂 **講 師:** スマホ販売ショップ店員

定 員: 15 名(先着順) 受講料: 各回 200 円 **持ち物:**お使いのスマホ

申込み: 11月27日(月)、28日(火)に明科公民館に電話で申し込みください TEL:0263-62-4605



いいまちサロン 12 月例会

~童謡・唱歌を歌う集い~

童謡・唱歌の成り立ちや歌詞の解説をききながら、童謡・唱歌を歌います。 今の時代、子供から大人まで楽しく豊かに生きる為に音楽の力はとても大 切なものです。

ときには、幼いころの余韻に浸って歌ってみてはどうでしょうか。





日 時: 12月12日(火)午後1時30分~午後3時

場 所: 明科公民館 講堂

講 師: 山田 真治さん(松本短期大学音楽科教授)

参加費: 300円(高校生以下無料)

申込み: 不要

明科生活・文化講座

自分で生けたお花を家に飾って新しい年を迎えませんか。初心者、経験者の方ともに歓迎です。

日 時: 12月27日(水) 午前10時~午前11時30分

場 所: 明科公民館 創作室 講 師: 細川 留美子さん **参加料:** 2,500円(花代)

申込み: 12月18日(月)、19日(火)に明科公民館に

電話で申し込みください TEL:0263-62-4605



明科地域文化祭が開催されました

さわやかに晴れ渡った3日間、明科地域文化祭が華やかに開催されました。

作品出展者や芸能発表者の高齢 化が進む中での開催でしたが、参 加された皆さんはまだまだお元気 で安心しました。

今年は明北、明南小学校の金管 バンドも参加し、4年ぶりにほぼ コロナ禍前の文化祭に戻れたこと が何よりでした。

















編集後記

・早いもので今年ももうすぐ終わりになろうとしています。来年は辰年ですが、 明科には龍の名前がつく地名が多いですね。この間龍門渕のことで問い合 わせがあって調べたんですが、龍神というのは水の神様らしいです。明科は 川が多いので納得したところです。ちなみに龍門という名前は中国の登龍門 に由来しているようです。今更滝を登って龍になることはできません。(や)

・例年にない暖かい天気の中、明科地域文化祭が盛大に開催されました。 各団体の作品展示や芸能発表があり、感心しながら楽しく鑑賞させていた だきました。大勢の方が訪れ、賑やかな3日間だったなと感じました。(あ)

いいまち通信の掲載記事を募集します

明科いいまち通信へ掲載する記事を募集いたします。なにか発信 したい内容などがありましたら、是非ご投稿ください。

募集内容 住民のみなさまからの記事・文章・写真・俳句・ご意見など

投稿要項・投稿する際は必ず氏名・住所・連絡先を記載してください。 ・記事内容は、明科いいまち通信編集会議で検討いたします。

投稿方法 ①明科支所(明科中川手 6824-1)へ持ち込む または

②Eメールで送る ⇒ <u>akashina-shisho@city.azumino.nagano.jp</u>

お問合せ 明科いいまち通信編集担当 (TEL:62-3001 FAX:62-4747)